



2024(令和6)

10/19 (土)

四国大学短期大学部 准教授  
英 美生

### 「音楽で広がる創造の世界」

～STEAM教育における「ART」の役割～

講演内容：

今、話題のSTEAM教育の中での「ART」の役割を、音楽を通して体験的に学び、音楽の持つ可能性を探求してみませんか？

クラシック音楽は歴史と共に、表現方法を変化させてきました。音楽の多様な表現方法を知ることで、創造的な音楽がどのように生まれるかを知ることができます。今回はそんなクラシック音楽に触れながら、様々な表現方法を新たな視点で考えていきたいと思います。また、音楽から見るSTEAM教育の重要性を「拡散思考」「収束思考」を通して体験し、みなさんの中に眠っている想像力や創造力を引き出してみましよう。

「STEAMは、「科学(Science)」、「技術(Technology)」、「工学(Engineering)」、「芸術(Art)」、「数学(Mathematics)」の略で、STEAM教育ではこれからの社会を生き抜く上で必要な能力の養成を目指します。」

11/16 (土)

徳島大学総合科学部 教授  
村上 敬一

### 徳島方言の歴史・現在・将来

講演内容：

現在の徳島方言について、歴史的な変遷をふまえた成立の過程と地域差や世代差からみた現状、さらには若年層の方言使用から予想される今後の将来像について、具体的な事例に基づいてお話します。徳島方言は、奈良時代、平安時代のことばが色濃く残る、日本語の歴史が凝縮されたことばです。地理的には、海を隔てた関西のことばに影響を受けてきました。最近では、社会生活の変容による標準語の普及も進んでいます。古くからの方言に、関西方言や標準語も並存する徳島方言について、みなさんといっしょに考えてみたいと思います。

12/21 (土)

鳴門教育大学大学院 准教授  
平川 恵実子

### 書くことと南方熊楠

講演内容：

南方熊楠(1867-1941)はたくさんの文字を書いた人でした。民俗学の論文をたくさん発表しましたし、構想をまとめる際には「腹稿」と呼ばれる独特のメモを書きました。たくさん本を読み、その内容をノートに何冊も写し書きました。手紙もたくさん出したし、若い時からずっと日記に生活を記録していました。本講座では書くことを通じて、熊楠がどんな人だったのかについてお話します。

2025(令和7)

1/25 (土)

四国大学文学部 教授  
阿部 曜子

### カズオ・イシグロの世界

—『日の名残り』を味わう—

講演内容：

ノーベル文学賞の受賞者で日本生まれの英国人作家、カズオ・イシグロの世界をのぞいてみましょう。彼の代表作『日の名残り』(ブッカー賞受賞作品で、アンソニー・ホプキンスの名演による映画も有名)を、インタビューでの作家の言葉や、描かれている時代の歴史的状况を織り込みながら多角的に読むことで、何が見えてくるのでしょうか。

2/15 (土)

徳島文理大学人間生活学部心理学科 教授  
渡邊 悟

### 非行少年の現在

講演内容：

非行少年は減っています。かつては、暴走族が爆音を鳴らして街中を走り回っていましたが、それも今は昔となっています。減少の要因の一つは、少子化です。しかし、それだけではなく、わが国の非行予防対策や非行少年の立ち直し支援がうまく機能していることも大きな要因です。一方、質的な変化も見られます。青少年の心性やライフスタイルの変化に伴い、非行も様変わりしているといえます。この講演では、そうした非行少年の量的・質的な変化を踏まえて、現代の青少年の心のあり様についても考えてみたいと思います。

3/15 (土)

徳島大学 人と地域共創センター 講師  
森田 椋也

### 人口減少社会における 地域づくりのマネジメント

講演内容：

少子高齢化、人口減少の進む日本においては、特定地域内にとどまらない社会関係構築の重要性が高まっています。特に人口減が著しい農山漁村においては、外部の主体も取り込みつつ地域の多様な将来像を描く計画論が求められています。

外部から来訪する人びとが地域の住人や文化、空間と出会い、交流・協働し、新たな価値を創出している特徴的な事例に着目し、そのような状況に至るまでの経緯を読み解きながら、これからの地域づくりや、そこに関わる人たちにどのようなことが求められていくかお話したいと思います。